



水上 雅廣 議員

光ケーブルの災害未然防止対策について

答 弁 市民生活を支える重要なインフラであり、市民から倒木等による通信線切断の恐れがある等情報が寄せられた場合には、管理企業に連絡し適切な対応を依頼している。今後も適切な対応の依頼を継続する。

国道 360 号等整備促進について

①一級河川宮川の改修計画②国道360号種蔵打保バイパスについて

答 弁 要望時の説明資料も直近の色々なデータを使用し毎回工夫を凝らし、また地元の皆さんや関係団体にもご同行いただくなど、より熱意が伝わるように少しでも力をかけていただけるようにということで努力をしている。①現在、県で鷹狩橋下

流域の流下能力や浸水危険箇所について河川現況調査を進めている。調査結果を基に課題整理を行い、市と情報共有し、今後の対応策の検討を進める。②令和6年度は1号トンネル古川側坑口へのアクセス道路工事と称宜ヶ沢上側坑口へのアクセス道路の修正設計を実施する予定であるとのこと。

学校選択制などについて

宮川小学校が学区を特認校にする可能性について

答 弁 これまで、飛騨市内・外からの就学希望があれば、「指定区域外からの通学申立」や「区域外就学承諾申請」の手続きで、校区の変更を認めてきた。今後、宮川小学校への通学希望があった場合も、同様の手続きで対応したい。宮川小学校には「子供たちの健やかな成長と自立を育むことができる子育て環境」がある。こうした環境を求め、宮川小学校への通学を希望する児童はこれまでもあり、今後も、希望がある場合には、積極的に受け入れたい。 [YouTube ▶](#)



小笠原 美保子 議員

耐震化の取り組みについて

自らの生命・財産を守るため取り組みの強化を。①耐震化の現状と取り組みについて。②いざという時のために家具の転倒防止・固定化の取り組みを。

答 弁 現在、木造住宅耐震診断と木造住宅耐震補強補助金の推進事業がある。耐震補助金の上限を200万円に引き上げ更に安価な耐震シェルターの種類を拡大する要綱改正も行った。②市防災士会、建築連組合、児童委員・民生委員の連携により河合町で「家具の転倒防止・固定化」の実証実験を行った。7月より関係機関による協議会を立ち上げ、来年度から本格実施に向け準備する。

観光の推進・対応について

①観光客への情報発信の取り組みについて②イ

ンバウンド需要をどのようにとらえ、取り組んでいますか③地域を愛する地元の方や民間業者の知恵に任せる取り組みはどのようにされていますか。

答 弁 ①飛騨市、飛騨市観光協会の公式サイトやSNSに加え、薬草ビレッジ構想や体験交流事業、観光施設なども積極的な情報発信を行い英語でも発信している。②近隣自治体と連携し広域での誘客を進め様々な方向から取り組む。③まちづくりと考え、観光協会、飲食店組合、旅館組合、街歩きガイド等、様々な課題や意見を伺って反映していく。

やさしいまちづくりのために

①体力づくりや交流の場として市民の散歩コースに休憩できる場所を

答 弁 ベンチや休憩所の設置については市民や観光客がゆっくりくつろぎ交流できる場所として大変有効。地域において設置要望があれば関係部局と検討する。 [YouTube ▶](#)





◀ 会議録はこちらから

一般質問



森 要 議員

千代の松原公民館の花壇整備等について

①施設の管理について②千代の松原公民館の利用について③花壇の整備、周囲環境の草刈りについて④今後の展開について

答 弁 ①公民館の管理業務は、施設の予約や貸し館業務が主で、比較的単純な業務の為古川町公民館、神岡町公民館、千代の松原公民館の3つを管理外部委託した。②令和5年度の利用は940件、8,515人で、乳幼児から青少年の利用が30%、高齢者団体が33%、成年のサークル活動や地区の利用が27%の利用。③④施設周辺の花壇の手入れや除草等は管理委託に含まれていない為、生涯学習課で行う必要があり、今年度は試験的に道路側に面した敷地の雑草化を防ぐため雑草シートを敷く予定。シートを敷く前に草の除去をするため

薬剤の散布を行った。花壇については、地元のシニアクラブに等のご協力が得られればありがたいと考えている。花壇の上にプランター等設置し玄関前を彩のある景観に変えていきたい。

古川町公民館のトイレ改修について

古川町公民館が指定避難所になったが水洗トイレが不十分。まだ和式トイレがある。

答 弁 平成29年度に各階のトイレの整備をしてきた。洋式便器数は男トイレ5基、女トイレ5基となっており、整備率は46%となっている。今年度次期総合政策指針に合わせて「公共施設トイレ整備方針」の改定を予定し、施設ごとの洋式便器数の充実をテーマとするよう検討し、令和7年度以降の5か年で整備率を向上していきたい。その他の拠点避難所や広域避難所を中心に整備率の向上をめざして整備を進めてまいりたい。

YouTube ▶



籠山 恵美子 議員

スケボーエリアの課題解決は

古川、神岡に整備中のスケードボードエリアを現地視察したところ、とくに古川の候補地・宮川河川敷ヘリポートは滑走が危険であり利用不可能であることが判明した。初期投資の予算をつけながらぜひいまさら禁止なのか。市の確実な解決策をうかがう。

答 弁 あらためて候補地を選定しているがクリアする条件が多いため選定が大幅に遅延し、大変申し訳なく感じている。早急に候補地の整備を進めていきたい。

CoIU 設立基金の計画変更には厳正に対処すべき

2026年の私大開学をめざすこの法人が校舎建設は変更し、駅東に民間が建設する複合施設に入

居すると発表した。つまり宮城町に購入した予定地に校舎は立たないことになる。では大学設置の後方支援として財政支援を用意している市の対応はどうなるのか。①法人の計画変更はふるさと納税の寄付目的に整合するか。②企業立地促進条例による助成金は目的を失うがどう対応するか。③計画変更により人の流れが変わり、まちづくりに影響する。環境アセスを法人に義務づけるべき。

答 弁 ①(部長)整合する。(市長)場合によりはく奪ありえる。②条例では土地取得5年以内に校舎運営に使われなければ助成対象にならない。③環境アセスはやっていく。

市の農と食を結ぶとりくみ強化について

①農林部と教育委員会の連携とれているか。②有機食材の課題解決にだれが責任を持つか。

答 弁 ①②関係者が連携会議で課題を共有し、その克服にあたって模索を深め取り組んでいる。

YouTube ▶





前川 文博 議員

資金運用について？

①これまでに購入した低金利時代の債権はこのまま保有した方がいいのか？②物価高騰による今後の財政見通しは？

答 弁 ①マイナス金利時代に購入した債券の利率は0.5%前後。3月末の時価総額は購入額より7億5千万円安くなっている。満期時には購入額が保証される。②今年の地方交付税は今後を予測する試金石。その配分が見込みより少ない場合、令和7年度の歳出は縮減せざるを得なくなる。

日本型ライドシェアについて？

①ライドシェアの事業実施者とは？②運転手登録、運行時間帯、トラブル発生時の対応は？③タクシーは一時的に集中し需要があるだけで、タクシー不足は深刻な状況なのか？④タクシー事業者

と飲食店関係者の協議の場が必要ではないか？

答 弁 ①タクシー事業者が実施。市内で実施する予定は無い。②ドライバーはタクシー事業者との雇用契約。トラブル発生時はタクシー事業者が責任を負う。国交省が指定する運行可能時間は、金曜土曜の16時から翌朝5時台まで。③タクシー利用が集中するのは、週末夜の22時台前後の1時間程度。そのためだけに運転手を配置するのは難しい。④運転手を地域全体で確保し、スポット的な需要に無理なく対応できる体制が必要。意見交換会の場を設ける。

花粉のないスギについて？

花粉症対策の事業が始まる。花粉対策されたスギ苗と、目標値は？

答 弁 花粉の少ない苗木の生産拡大でスギ花粉発生源対策が強化される。発生源となるスギ人工林を約2割減少させることを目指す。

YouTube ▶



住田 清美 議員

保育園運営について

①現状について②将来展望について③保育の形態について④認定こども園の発足について

答 弁 ①待機児童ゼロを継続しているが、未満児に関しては希望する園に入れなかった場合や、兄弟姉妹と別々の園に入園する場合もある。保育士確保対策は今後も継続する。②私立保育園については運営費に加え市独自の補助金にて対応している。大規模修繕についても修繕計画に沿い、内容によっては市の補助もしていく。③保育サービスの均等化については、サービスの質、水準において市内全域で担保されるべきと考える。④今年度は園舎の改修、令和7年度は備品整備などを行い、令和8年4月から認定こども園として開所する。保育士の派遣交流や保護者アンケートなども参考

により良い保育を目指し検討する。

消滅可能自治体の公表について

「人口戦略会議」が発表した消滅可能自治体の県内16市町村に当市も入っている。ピンポイント施策は行わないのか。

答 弁 人口が外に流出しない「閉鎖人口」というとらえ方があるが、当市の若年女性人口の減少率はマイナス8.4%で、国・県の平均よりよい数値である。これは当市で生まれ育つ若年女性はあまり大きく減少していないことがわかる。流失対策としては、若年女性の働く場所の確保や住宅の確保が課題となってくる。その点では奨励金制度や様々な補助制度で取り組んでいる。ピンポイント政策はやりながらも、市民が暮らしやすいまちづくりを全方位的に進めることが結果的に人口減少対策になると考えている。

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



佐藤 克成 議員

救命救急体制について

①適正な119番通報について
②乳幼児搬送への対応について③給食時の窒息事故防止について

答 弁 ①救急出動は増加傾向だが、体制は取れている。過去5年間で緊急性がないと判断した事例はなく、救急車は適正利用されている。近所の目を気にするなど救急車を呼ぶことに躊躇が見られる。患者の状態悪化を防ぎ、予後をよくするためにも、ためらわずに呼んで欲しい。②小児用の資器材も取り揃え、乳幼児蘇生や小児外傷にも対応できるよう勉強会に参加している。③事故発生時に迅速に対応する体制を整え、児童生徒への安全指導を行っている。

地域活性化人材育成支援事業について

①事業の目的②申請状況と卒業後の進路

答 弁 ①市の地域課題解決と地域活性化に取り組むことができる人材の確保、高等教育機関による専門的知識を得た学生の市内定住及び市内就業に繋げることを目的に令和2年度より実施。②これまで利用した学生は2名。昨年度大学を卒業し、市内就職には至っていないが、支援制度の条件である卒業後3年以内に市へ転入し、転入後1年以内に就職若しくは起業することを目指している。

市役所職員の兼業について

答 弁 あらゆる分野で人手が不足する中、市の職員が公務外の時間を使って、一定の報酬を得て、地域課題の解決のために資する活動は求められていく。全体の奉仕者という公務員の本質、公務の信用を傷つけない社会貢献活動であること、適正な勤務時間と健康管理を徹底しながら、兼業を推進・促進していきたい。

YouTube ▶



上ヶ吹 豊孝 議員

イノシシによるインフラ被害について

近年イノシシによる法面の掘り起こしが多く発生し、インフラ施設（農地法面、河川堤防、道路等）に甚大な被害が発生する恐れがある。今対策を講じなければ被害が増すばかり。①道路法面の被害調査について②イノシシ被害の拡大について③イノシシ被害対策と連携について

答 弁 ①月二回のパトロール点検を実施、情報収集し落石除去や法面被害の補修対応をしている。②掘り起こしにより法面は脆弱になり、豪雨による被害拡大の恐れ、被害箇所を早期発見と早期対応に努める③イノシシ発生状況等の情報収集し、対策を行う際は今後関係各所との連携を図る。

防災士養成について

防災士とは、減災と社会の防災力向上のため自発的な防災ボランティア活動です。東日本大震災や熊本地震では防災士のリーダーシップにより住民の命が助かったり、避難所開設がスムーズに運んだ。飛騨市も大規模災害が発生した時は防災士会との連携が重要である。①防災士会への入会の取り組み②防災リーダー養成講座について③女性防災士を増やす取り組みについて

答 弁 ①防災士会に入会されていない方へのアプローチは重要で意義や活動の重要性を周知する。②開催時期は、市民が受講しやすい冬季にしている開催場所も神岡会場も検討。防災士会と連携し、多くの市民が防災士リーダー養成講座に参加できるよう努める。③女性防災士は、災害時の避難所運営や平時の防災普及活動など、あらゆる場面で活動が求められる。市では、女性防災士の役員を多数登用し、女性の視点を十分に採用した活動や防災士要請に力を入れている。

YouTube ▶





高原 邦子 議員

飛騨市地域防災計画に血を
通わせ活きたものにしませんか

いろいろな災害を検証した資料を精査した上で一部であるが質問する。①新しいデジタル防災無線は長時間停電にも対応できるのか。②支援物資の仕分けは職員より民間の経験者に任せられないか。③仮設住宅等への考え方は。④復興を考えると不動産登記を確実にされるように市民に促していく事は大切ではないか。⑤地域防災計画書は市職員全員に浸透しているのか。

答 弁 ①親局・各中継局は72時間以上、個別受信機は市販電池により120時間以上稼働する仕様。②市職員の指示の下、自治会の方々、防災士会、ボランティアで行う。国・県の枠組みでも計画している。③建設用地はグラウンドや公園など27か所で、飛騨圏域は65%で充足率が低いので、

県有地、民間事業者の用地を含め候補地確保に努める。④国でも大きな問題として不動産登記法の改正がなされた。制度周知のチラシなどを配布する。土地収用法はハードルが高すぎる。⑤全員が内容を把握するのは理想。高度の専門性を必要とされるので管理職以下が理解できればよい。

ハラスメント撲滅を全市上げてしていき
ませんか

各種ハラスメントが言われているが、市民憲章の思いやりの和を広げればなくなるのではないのか。対策はどのようにしているのか。

答 弁 企業等もハラスメント対策をしている。市も研修会をし、スローガンを掲げている。ハラスメントの裏には必ず共感の欠如があり、ダイバーシティのまちづくりも一人一人を大切にすために行っている。

YouTube ▶



野村 勝憲 議員

消滅可能性自治体から脱却へ

私は4・5月データセンター、大学、まちづくりで石破茂国会事務所、経産省、文科省、総務省と7自治体や2商工会3観光協会及び明治、中央等10大学視察し得た知見を参考に①高山と白川は飛騨市のように消滅可能には入らず10年前と変わらず。白川村は企業誘致に力を入れる等他町村でも企業誘致が盛ん。市の考えは②視察した印西市は12年前データセンター誘致に最優先で取り組み、税収60億円増や人口3万人増等まちづくりに大きな成果。市の地域づくりは神岡町地底危機管理データセンターの新設から

答 弁 ①市は関係人口を優先に取組む②データセンター過去に民間が検討し断念。誘致は容易ではない。

「賑わい」と「稼ぐ観光」について

市長は観光を1丁目1番地に人と金を取り込むと公約し8年。その成果は出ず稼ぐ店次々閉店。①「さくら」再放送で観光客が増え古川に賑わい。2,545万円市助成の映画「雑魚どもよ。大志を抱け！」は話題にならず、白川や高山のように成果を出ず観光戦略は②白川村今年の観光客過去最高の215万人を超える勢い。市の観光客数は？

答 弁 ①観光誘客が目的ではなく、新たな観光戦略は考えていない②今年の観光客120万人突破する。

Co-IU大学と市の若宮駐車場について

高岡法科大学閉学に続き、銚子市の千葉科学大学も閉学の方向。少子化で私立大学経営難が続く時①Co-IU設立資金70億円から12億円に大幅減の中、市のふるさと納税等支援は②大学が若宮駐車場移転なら話が違い、土地交換の必要はない。

答 弁 ①市の支援は2億5千万円と固定資産税10年間免除②土地は予定通り等価交換する。

YouTube ▶

